令和３年度 枕崎市 施政方針

令和３年枕崎市議会第２回定例会が２月26日招集され、前田祝成市長が令和３年度の市政運営についての施政方針演説を行いました。その一部を抜粋して紹介します。

私が枕崎市長に就任して３年が経過しました。私の仕事の目的は「枕崎市民一人一人の幸せを実現する」ことです。「日本一幸せな２万人のまち」を目標にこれまでの３年間、議員の皆さまのご理解、市職員、そして市民の皆さまのお力をいただきながら、その歩みを続けてまいりました。「枕崎市民一人一人の幸せを実現する」その目的達成のための手段の一つが、「市民の役に立つところであるべき、この市役所を『市民の幸せを最優先する組織』に変革する」ということです。「枕崎市民一人一人の幸せを実現する」そのために「市役所を『市民の幸せを最優先する組織』に変革する」この二つはこれからも私の仕事の大きなテーマです。

新型コロナウイルス感染症

市では、感染拡大を最小限に抑えて市民の命を守ることを最優先に感染防止に取り組むと同時に、市民の皆さまの不安を取り除くこと、一方では感染された方々を誹謗中傷から守ることに心を配りながら、最適な情報発信や感染防止のための啓発に努めました。

感染状況については落ち着きを見せている本市ですが、全国的な感染の拡大により経済は厳しい状況が続いております。地域経済への影響を最小限に抑えることを目的に、国は新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の交付を行いましたが、その交付金等を活用し、本市もさまざまな感染防止対策や経済対策事業を行ってきました。私は「市民の暮らし（経済状況）をコロナ以前とできるだけ変わらない暮らし（経済状況）にする」という目的を持って「雇用の維持と事業の継続」を最優先にそれらの対策事業に取り組みました。事業立案に当たっては、この状況下でこの先どのようなことが起こり得るのか想像力をフル稼働させ、全職員の知恵を総動員して事業案を出すことに努めました。そのような中、「雇用の維持と経済活動の回復に向けた事業」として雇用調整助成金の申請費用の補助や事業者の事業継続を後押しするための家賃等に係る費用の助成、本市での感染確認がされた７月以降は売上げが減少した事業者へ向けた応援資金の給付、また地域内経済を活性化させる目的のグルメクーポン事業、プレミアム商品券発行事業のほか、感染対策と新しい生活様式に対応しながら事業を進めていくための環境整備事業など60を超す事業を進めてきております。一時的な「ばらまき」ではなく、本市の財政状況、今後の感染症の推移、市民、事業者、教育現場など今後の枕崎市のあるべき姿を思い描きながら、事業案の取捨選択を行って決定した事業です。

ワクチン接種

新型コロナウイルス感染拡大防止の切り札として期待されるのがワクチンです。国は２月17日から安全性調査に協力する医療従事者に接種を開始し、３月中旬から医療従事者、４月以降、65歳以上の高齢者へのワクチン接種に引き続き、高齢者以外で基礎疾患のある方や高齢者施設等の従事者、その後、16歳以上の一般の方へのワクチン接種を計画しています。本市でも、国の動向を把握するとともに、本市医師会、市立病院との協議を進めながらワクチン接種に向けた準備を整えています。きめ細かな情報発信に努め、多くの市民の皆さまにワクチンを接種していただき、安心して社会経済活動を行えるような体制づくりに努力してまいります。

地方創生総合戦略

本年度は第２期枕崎市地方創生総合戦略の１年目の年でした。一つ目に「地場産業の振興と、地域経済の循環を図ることで、安定した雇用を創出するとともに、多様な人材の活躍を推進する」、二つ目に「豊かな地域資源を使って、地域外とのつながりと、新しい人の流れをつくる」、三つ目に「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」、四つ目として「安心な暮らしを守るとともに、時代にあった、魅力的な地域をつくる」という四つの政策分野を掲げ、令和６年度までの５カ年の第２期戦略のスタートを切りました。

地方創生総合戦略の実行、推進が将来のまちづくりへの原動力となります。今後もＰＤＣＡサイクルを有効に回しながら総合戦略を進めてまいります。

枕崎市総合振興計画

平成28年度に策定した第６次枕崎市総合振興計画は本年度で５カ年が経過して、新年度から後期基本計画をスタートさせます。現在、枕崎市総合開発協議会における審議等を経て、その素案について、パブリックコメントの手続を行っておりますが、そこで寄せられた意見等を踏まえ、本年度末に成案化します。

その第６次総合振興計画の目指すべき将来都市像である「活力ある地場産業に支えられ人情味あふれる安らぎと潤いのある枕崎市」を実現するための新年度新規事業など施策の主なものについて、説明いたします。

施政方針の全文は、市ホームページに掲載しています。

掲載ページ
【市長の部屋⇒施政方針⇒令和３年度施政方針】

▲施政方針全文

活力ある地場産業に支えられ
人情味あふれる安らぎと潤いのある枕崎市

地方創生総合戦略の政策分野

地場産業の振興と、地域経済の循環を図ることで、安定した雇用を創出するとともに、多様な人材の活躍を推進する

地域新電力会社の設立に向け、本年度は県において木質バイオマス発電所を活用した非常時対応の検討などが行われましたが、新年度は地域資源を活用した地域エネルギー事業を立ち上げるマスタープランの作成に取り組みます。

豊かな地域資源を使って、地域外とのつながりと、新しい人の流れをつくる

「野球によるまちづくり」に取り組むため、市営野球場を硬式野球にも使用可能な競技場としての基本的な整備を行いました。

新年度も、引き続き多目的な活用を可能とする施設としての整備を計画しています。スポーツ合宿の誘致や文化芸術イベントは関係人口を増やす起爆剤となります。

若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

結婚新生活支援事業、新生児への５万円分の商品券給付事業を新年度も継続します。

また、産科・小児科医療体制確保支援事業として、産科医師確保対策の継続と併せて、新年度は、今後の本市産科・小児科医療体制の維持継続に向けて医療機関、医師会等との懇話会を設置して、市を挙げて課題解決に取り組みます。

安心な暮らしを守るとともに、時代にあった、魅力的な地域をつくる

デジタル化に向け、新年度からの市税、水道料金等のコンビニ納付に向けた準備を進めています。

昨年９月に発生した台風第10号では、家屋や公共施設等に甚大な被害が発生しました。今回の経験を生かした感染防止下の避難所運営など今後も対応の強化を図っていきます。